

用者を合わせて、年間平均約2万5,000人となっている。施設の整備については、地形的な制約もあるが、長崎市弓道連盟や関係部局と協議を行いながら、高校総体ができるような場及び射場の拡張、審判員席の新設及びトイレの改修などについて、交付金制度などを有効に活用して整備を行ってきたい。



▲長崎市弓弓道場

長崎市民会議

被爆体験者に対する認識

問 行政、議会及び被爆者団体等が一体となって被爆地域の拡大是正の要望をしてきた結果、PTSD（心的外傷

後ストレス障害）を根拠とする被爆体験者支援事業が始まったが、その行政と被爆体験者が現在、裁判で争っている状況にある。市長として、今後、被爆体験者とう向き合っていくのか、大局的な立場からの見解を伺いたい。

答 本事業を受け入れたことで、被爆地域の拡大是正を断念したのではなく、拡大への思いは現在も変わっていないが、新たな科学的・合理的根拠が求められる中、科学的分野の見解を行政のみで判断することは困難である。今後とも専門機関と連携を図りながら情報収集に努めるとともに、放射線の影響に関する研究全般については、早期に医学、放射線物理学、疫学などの専門家等の意見を聞ける場を設けたい。

日本維新の会

新市立病院建設の工事発注

問 新市立病院建設については、入札時にJ-V（特定建設工事共同企業体）から、直接工事費の60%である約50億2,000万円を地元の1次下請業者に発注する提案があっていたが、本年2月議会において目標達成は困難ということが判明した。そこで、提案額

を達成するため、特定の工事で既契約分の見直しを行ったが、元の県外の1次下請業者が2次下請業者となっており、請負金額の多くが2次下請業者へ入ると聞いているが、これで果たして、地元の経済活性化になるのか伺いたい。

答 地元の経済効果が、2次効果、3次効果も含めて、大きくなるような形での発注をしていくよう地方独立行政法人長崎市立病院機構に対し指導をしていくとともに、今後の2期工事に向けても、厳しい姿勢で取り組みを行う。

気走会

出島完全復元の進捗状況

問 出島完全復元事業の進捗状況について伺いたい。

答 現在、第Ⅲ期事業として中央ゾーン6棟の復元、さらには表門橋の架橋に向けた準備を進めており、昨年度、6棟に係る発掘調査と基本設計が終了した。今年度からは、オランダにある貴重な資料の展示も視野に入れた展示計画を始める予定で、平成28年度の供用開始に向けて着実に事業を進めている。また、長期計画実施には、これま

で以上に時間と予算を伴うものであり、市民はもとより、県民、国民の総意のもとに進めていかなければならない。そのためにも、まずは、平成28年度供用開始を目標とする中央部6棟と出島表門橋を完成させ、現在約40万人の来場者を大幅に増やし、出島の価値を国内はもとより世界の人々と共有し、評価を高めることが重要であると考えている。



▲発掘作業現場

会議録の閲覧について

6月定例会の会議録は、8月下旬から市議会ホームページで閲覧できます。

また、次の各施設においても会議録を閲覧できます。

■会議録の閲覧ができる場所
市政資料コーナー（市役所本館1階）／支所／行政センター／大型公民館／市立図書館／県立長崎図書館等